



株式  
会社

鳥羽洋行

# 第66期 報告書

2014年4月1日 ▶ 2015年3月31日

先端技術で社会と産業の進化を支える



東証JASDAQ上場

証券コード:7472

## 最新の商品、 技術及びサービスの提供

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、  
ありがたく厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第66期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の  
報告書をお届けするにあたり、当期の概況をご報告するとともに、  
ひとことご挨拶申し上げます。



### 当期の概況

当事業年度(以下、「当期」という)の世界経済を概観しますと、米国経済は民需主導により緩やかな景気回復基調が続きました。欧州経済もユーロ圏諸国における債務問題再燃が懸念されましたが、ECB(欧州中央銀行)が金融緩和策によるユーロ安誘導を行うことで小康を保っており、欧州全体としての景気は持ち直してきております。また、中国及びその他新興諸国の経済も世界景気の緩やかな回復を背景にした輸出の復調によって景気の下振れは回避されつつあります。一方、わが国経済におきましては、消費税率引き上げの影響による個人消費の低下が懸念されましたが、円安、株価の上昇並びに原油価格の下落等を背景に景気は回復基調を維持しております。

このような経済環境の中で、当社は当社の主要な得意先における商品・生産拠点等の事業展開を見極めながら、既存得意先の深耕、新商品の発掘及び新しい販路の開拓に全社的に取り組むことで、事業の拡大に努めてまいりました。当期におきましては、当社の主要な得意先において、国内外を問わず自動化を中心にした設備投資が堅調に推移したた

め、制御機器、FA機器及び産業機器ともに販売を伸ばすことができました。

以上の結果、売上高は190億7百万円(前年同期比16.4%増)、営業利益は8億81百万円(前年同期比40.5%増)、経常利益は10億40百万円(前年同期比44.9%増)、当期純利益は6億64百万円(前年同期比54.9%増)となりました。

株主の皆様に対する配当方針につきましては、安定的な配当の継続をめざすとともに、株主の皆様に対する公明性を明確にした業績連動型の配当性向を基本と考えております。当期の期末配当金につきまして、今後の事業展開などを勘案し、1株につき60円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月  
代表取締役社長 三浦 直行

## 取扱商品実績

## 部門別概況

## 制御機器

## 生産工場の構成には欠かせない

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継ぎ手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当期におきましては、半導体・液晶製造装置、デジタル機器関連の得意先中心に幅広い得意先における空気圧機器及び継ぎ手等の需要が堅調に推移したことに加えて、物流装置メーカーからの制御機器の需要が急増したこと等により、制御機器全体の売上高は前年同期を上回る71億4千万円（前年同期比15.5%増）となりました。

## FA機器

## 工場の自動化・コストダウンを実現

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当期におきましては、期を通じて半導体製造装置や液晶に関連する得意先におけるFAロボットや直動システムの堅調な需要が続いたことに加えて、複写機メーカーの海外子会社からのマウンターの大口需要や自動車・車載部品に関連する得意先の海外子会社向けにプラズマ洗浄機の大口径需要があったこと等により、FA機器全体の売上高は前年同期を上回る82億99百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

## 産業機器

## 生産組立て作業に使用されている

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、ろ過フィルター、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当期におきましては、電動ドライバーやアルミフレーム等を中心に産業機器全体で幅広い得意先からの需要が旺盛でありました。中でも前々期から取り組んできたろ過フィルターの売上が大きく寄与したこと等により、産業機器全体の売上高は前年同期を上回る36億3百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

## 売上高

当期

平成27年3月期



前期

平成26年3月期



( )内は構成比

## 営業活動のご紹介

## 「ミニ展」を実施

当社では“ミニ展”と称し、社員が得意先様の工場等に出向いて、新しい機械工具や装置等の情報を提供する営業活動を行っており、多くの得意先の皆様からの好評を得ております。



※ミニ展の実施状況

# 財務ハイライト

## 業績の推移

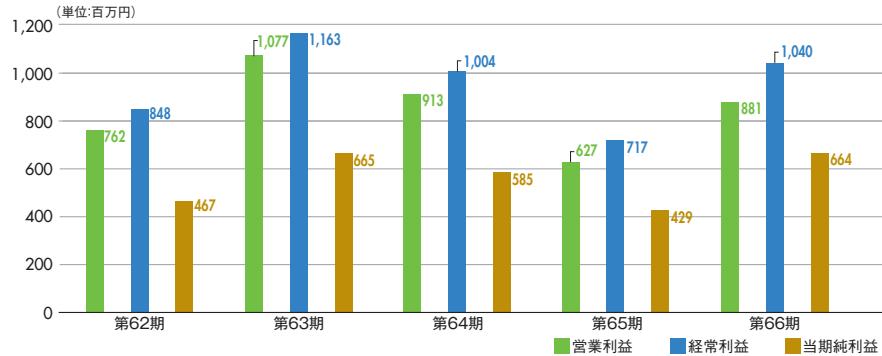
売上高 **190.07** 億円

### 売上高



営業利益 **8.81** 億円 経常利益 **10.40** 億円 当期純利益 **6.64** 億円

### 営業利益/経常利益/当期純利益



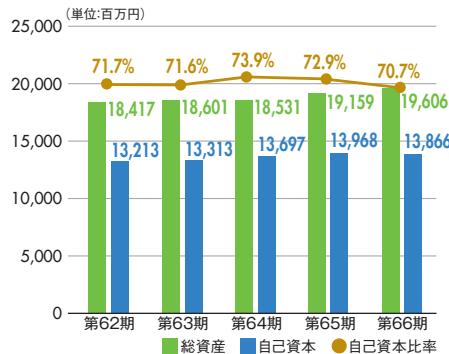
フリーキャッシュ・フロー  
キャッシュ・フロー **4.86** 億円

### 営業キャッシュ・フロー/投資キャッシュ・フロー/フリーキャッシュ・フロー



総資産  
資産 **196.06** 億円

### 総資産/自己資本/自己資本比率



ROE ROA  
利益率 **4.8%** **3.4%**

### ROE/ROA



# 財務諸表

## 貸借対照表

(単位: 千円)

科 目	当 期 (平成27年3月31日現在)	前 期 (平成26年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	14,600,454	14,264,920
固定資産	5,005,751	4,894,510
有形固定資産	1,944,621	1,979,190
無形固定資産	87,645	96,368
投資その他の資産	2,973,483	2,818,950
資産合計	19,606,205	19,159,430

科 目	当 期 (平成27年3月31日現在)	前 期 (平成26年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,420,117	4,964,811
固定負債	319,221	225,882
負債合計	5,739,338	5,190,693
<b>純資産の部</b>		
株主資本	13,431,610	13,791,734
評価・換算差額等	435,256	177,001
その他有価証券評価差額金	435,256	177,001
純資産合計	13,866,867	13,968,736
負債及び純資産合計	19,606,205	19,159,430

## 損益計算書

(単位: 千円)

科 目	当 期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	前 期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
売上高	19,007,701	16,333,857
売上原価	16,238,756	13,895,353
売上総利益	2,768,945	2,438,504
販売費及び一般管理費	1,887,173	1,811,021
営業利益	881,772	627,483
営業外収益	162,463	95,873
営業外費用	3,776	5,498
経常利益	1,040,459	717,858
特別利益	—	2,482
税引前当期純利益	1,040,459	720,341
法人税、住民税及び事業税	391,800	297,300
法人税等調整額	△16,264	△6,282
当期純利益	664,923	429,324

# 会社情報

## 会社概要

社名	株式会社 鳥羽洋行(英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日(創業：明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売および輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。 機械工具器具とその部品類の加工販売および輸出入。 古物売買業。

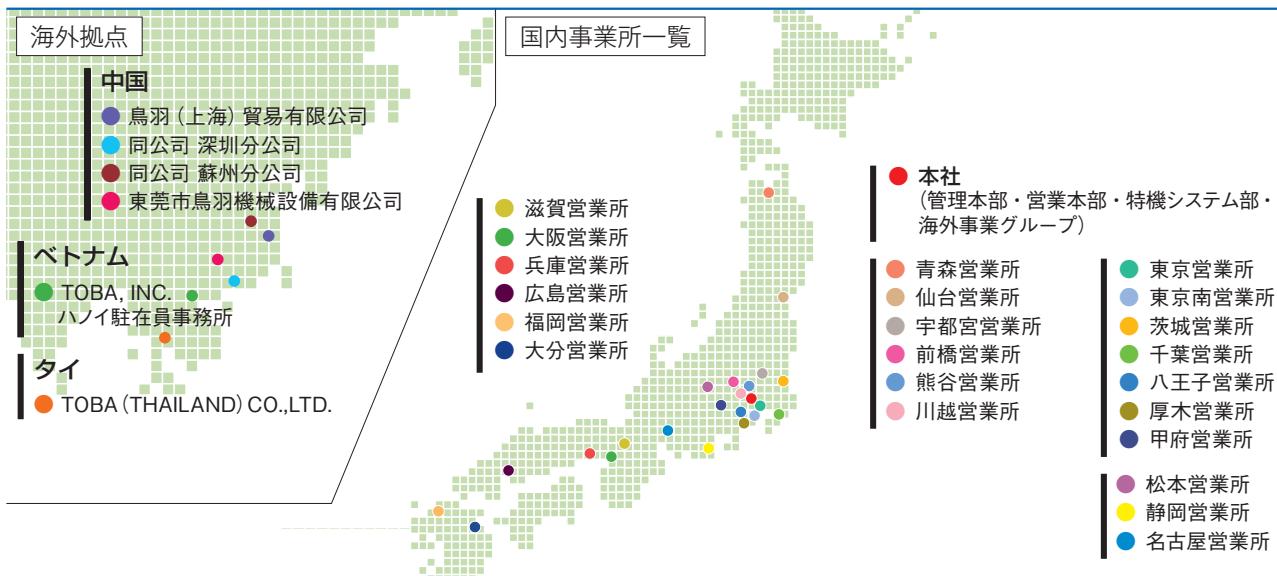
従業員数 192名(男性：133名 女性：59名)(平成27年3月31日現在)

(注) 従業員数には、他社への出向者及び嘱託社員を含んでおりません。

## 役員 (平成27年6月19日現在)

代表取締役社長	三浦 直行
常務取締役	遠藤 稔
常務取締役	鳥羽 重良
取締役	松永 健一
取締役	園家 秀幸
取締役	尾関 真一郎
常勤監査役	大島 伸雄
監査役	廣瀬 勝一
監査役	森 真一
監査役	早崎 信

## 営業ネットワーク (平成27年4月1日現在)



# 株 式 情 報

(平成27年3月31日現在)

## 株式数及び株主数

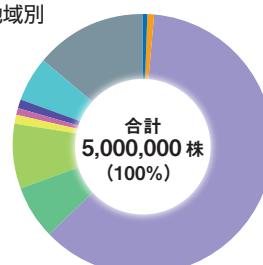
発行可能株式総数	20,000,000 株
発行済株式総数	5,000,000 株
株主数	3,175 名

## 株式数分布状況

所有者別



地域別



- 個人・その他  
2,666,219株 (53.32%)
- 金融機関  
397,400株 (7.94%)
- その他国内法人  
841,604株 (16.83%)
- 外国人  
275,900株 (5.51%)
- 証券会社  
129,879株 (2.59%)
- 自己株式  
688,998株 (13.77%)

- 北海道  
5,826株 (0.11%)
- 東北地方  
24,418株 (0.48%)
- 関東地方  
3,184,626株 (63.69%)
- 中部地方  
337,488株 (6.74%)
- 近畿地方  
408,380株 (8.16%)
- 中国地方  
27,705株 (0.55%)
- 四国地方  
14,113株 (0.28%)
- 九州・沖縄地方  
32,146株 (0.64%)
- 国外  
276,300株 (5.52%)
- 自己株式  
688,998株 (13.77%)

## I R 情 報



写真は、「中間決算説明会」実施状況(開催場所:大和証券株式会社本社)

### 当期のIR活動実施状況

平成26年5月29日  
2014年3月期 決算説明会(アナリスト向け)実施

平成26年11月27日  
2014年3月期 中間決算説明会(アナリスト向け)実施

平成26年12月6日  
個人投資家向け※「会社説明会」実施(名古屋にて)  
※主催:大和インベスター・リレーションズ株式会社

# 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ( <a href="http://www.toba.co.jp/">http://www.toba.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

## 住所変更、単元未満株式の 買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

## 株主優待制度のお知らせ

制度の内容は、下記のとおりであります。

所有株式区分	1,000株以上	100株以上1,000株未満
	オリジナル・クオカード 3,000円相当を進呈 	オリジナル・クオカード 1,000円相当を進呈 
	継続保有3年以上	
	オリジナル・クオカード 6,000円相当を進呈	オリジナル・クオカード 2,000円相当を進呈

(注) 継続保有3年以上の確認にあたっては、平成25年3月末日以降、毎年3月末日の株主名簿に同一の株主番号で、連続して4回以上記載または記録された株主様を対象とさせていただきます。



株式会社 鳥羽洋行

〒112-0005 東京都文京区水道二丁目8番6号 ☎ (03) 3944-4031  
<http://www.toba.co.jp/>